

第5回 西宮市総合計画審議会 第3部会 議事概要

開催日時	平成30年8月2日（木）18時00分～20時15分
開催場所	西宮市役所東館 8階 802会議室
出席者	加藤委員、羽田委員、藤田委員、古塚委員、小野委員
欠席者	新川委員
事務局	田村政策局長、清水政策局担当理事、楠本政策総括室長、四條政策推進課長、岩田政策総括室参事
施策分野 所管局	産業文化局
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第5次総合計画 基本計画（原案）等について <ol style="list-style-type: none"> 20. 都市ブランド 21. 大学連携 22. 産業 23. 農業・食の流通 24. 就業・労働 32. 地域防犯・交通安全・消費者安全（うち、消費者安全） 3 その他 4 閉会
資料	なし

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
事務局 部会長	<p>1 開会 (連絡事項・資料確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本計画とアクションプランについて様々な意見が総会でも出たので、事務局から、それについて説明を。
事務局 委員	<p>(基本計画とアクションプランについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会から「従来の基本計画を分離しなさい」という話があり、議会は議決権を持っているからそれを尊重するということか。 審議会ではアクションプランも含めて審議するということだが、議会には、ここで言う基本計画とアクションプランを一緒に出して説明するのか。 総合計画も、当局が考える形を出して、議会としてそれを通すのか、否決するのか、そこまで持って行ってもいいのではないか。 先日の審議会でも私だけでなく、何人かの委員が疑問を呈した。それに対して明確な答えもなく、審議会の了解がなくともパブリックコメントはできる、と今やっている。審議会の意見について、十分に計画策定に取り入れようとするのか、意見は意見として聞くが、行政当局は議会との関係でどんどん進めていくということか。 捉え方の違いがあろうが、私はアクションプランも含めて基本計画だと正面から出すべきと考える。それに対して否決か修正案が出るか分からないが、始めから意向を付度して出すのが本当にいいのか。意見として言っておく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実際の計画はアクションプランであるが、そのような詳細なことまでは議決する意向がないと受け止めている。あくまで議決対象は目次の部分であり、実際の議論はアクションプランの中身という状態である。 当局としては、本来、アクションプランを基本計画とすべきとしている。 我々としてはアクションプランと呼ぼうが、基本計画と呼ぼうが、こういう内容のものを作りたいということには変わりはない。そういう意味では、実を取るために、この方向でいくのがベストだと判断した。 意見として答申に書いていただきたい。我々も不本意な気持ちが残っており、改善できる分は改善してもらうようには働きかけていきたい。
部会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> 大きな問題であるので、一言ずつ皆さんのご意見を伺いたい。 基本計画というものが決まっていて、アクションプランでそれに肉付けをしていく。私たちが考えるのは肉付け部分であるという認識でいいか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> まだ決まってない。書き方が決まっているだけで、目次をどう変えるかは審議会の議論、と議会は言っているのか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 形式がこういう形だということ。 形式がこれなら、すでに決まっているような気がする。

部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これは目次であり、中身をどんどん変えていってアクションプランに反映していけばいい。本来は合体しているものであり、分離している方がおかしい。 ・実際にはアクションプランを議論していただき、アクションプランが修正されていけば、目次も合わせて変わっていくと考えていただければいい。 ・議論の中身については、特に制約を受けていないという理解でいい。 ・要するに、アクションプランの内容を考えていけばいいということか。 ・それが当局の意向。おかしいという主張もあり、ややこしいことになる、なかなか話が進んでいかないということもあるが、重要などころである。 ・このまま進めていくしかないのではないか。 ・議会とのやり取りはよく分からないが、「何をしてほしい」ときちんといってもらったら、それに私たちが答えるしか今のところはないのではないか。 ・私の意見は前回申し上げたことに尽きる。総計審のお手伝いもこれまでいろいろしたが、議会が最初からタガをはめて「その中で」というのは初めてだ。総計審とはそういうものなのか。目次と中身を分離しろというのも理解できない。なぜ一体化したらいけないのかよく分からない。 ・あまり時間をとっても前に進まない、取り敢えず、この工程表に則っていくということで、いかがか。 ・元々、地方自治法では基本構想が議決対象だったがそれが外れた。以前は、議会は行政当局がやることについてチェック機能を果たすという形でできていたが、そこから一歩踏み出して、自ら責任を持った対応をしていかないといけないという話の中で、自治法に基づいて平成 23 年に条例を作った。その後 1 回選挙があったが、ほとんどのメンバーが残っている。だから、条例を作った自らの責任を果たすべきといたい。 ・委員の皆さんもそれぞれお考えのところがあり、当局も随分と議会と協議したということである。 ・部会長として進める立場であるので、このアクションプランを西宮の将来に向けた良いものにしていくため、我々の役割を果たすということとしたい。 ・今回と次回第 6 回の進め方について、確認しておきたい。資料 4 の裏面「各部会が所管する施策分野の一覧」のうち、この第 3 部会は 11 の施策分野について審議していく。今回は後半の 6 つ「20 都市ブランド」「21 大学連携」「22 産業」「23 農業・食の流通」「24 就業・労働」「32 消費者安全」について、主に、参考資料「アクションプラン」をもとに審議していただく。 ・また、各施策分野を所管する職員として、本日は産業文化局から出席いただいており、必要な場合に事務局に代わって説明していただく。 ・短時間でたくさんの施策を議論しなければならないので、円滑にご議論いただきたい。また、言い残されたことや後ほど思い出されたことは事務局にどんどん言っていただきたい。
事務局	
部会長	
委員	
部会長	
委員	
委員	
部会長	
部会長	
委員	
委員	
部会長	
部会長	
部会長	

<p>部会長 事務局</p>	<p>【会議成立の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議成立の確認ということで、出席状況についてご確認を。 ・ 委員総数6名中5名の委員の出席で、この会議は有効に成立している。
<p>部会長 事務局 部会長</p>	<p>2 第5次総合計画 基本計画（原案）等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画の審議に入りたい。 <p>【20 都市ブランド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （アクションプラン P53～P54 について説明） ・ 都市ブランドというと、もう少し大きな枠組みのようにも見える。例えば、西宮の持っている特徴である大学、その後の大学連携とか、そういうものを包摂する概念のような気もする。「都市ブランド」というのが1つ出てきているのは、ちょっと奇妙な感じがする。
<p>産業文化局 事務局 部会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どちらかと言うとシティプロモーションは都市ブランドを発信していくというイメージがあるが、ここでは、エリアごとの地域ブランドの積み上げを「都市ブランド」と言っており、「観光」という切り口で事業や発信をしているということ。シティプロモーションに関しては別の項で出てくる。 ・ 【34 行財政】 の P85 の⑦に全市的な分が入っている。 ・ キーワードとしては、西宮にとっては重要なポイントになるところだ。 ・ 〈現状と課題〉だが、どれが現状で、どれがそれに対しての課題なのか。綺麗な文だが、スーッと通ってしまう。以前、頂いた「これまでの西宮、これからの西宮」を見ると、例えば、「生み出すものと受け継ぐものはこれ」と分けて書いてあり、このようにはっきり見えればもっといいかと思う。 ・ もう一点、P53 の下から3つ目に「本市では、平成25年に」と、ここだけ年度が出ているが、何か意図があるのか。
<p>産業文化局 委員 部会長 産業文化局 部会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産業の日本酒が西宮の大きなブランドだが、商工会議所、酒造業、西宮市、観光協会といういろんな団体が一体となって、日本酒の振興をもっと盛り上げていこうということで、平成25年に乾杯条例ができた。そこからスタートしたというシンボリックな条例ができた時を書きたかった。 ・ 乾杯条例と結び付かなかったので。 ・ 書き振りについて、〈現状と課題〉と〈取組内容〉が重なっている。「酒蔵ツーリズムの推進」も、〈現状と課題〉と同時に〈取組内容〉にも書かれている。〈現状と課題〉で、どちらかという、今やっていることを書いており、〈取組内容〉で再掲されている。分かりにくさがあるかもしれない。 ・ 課題が少し薄いかもしれない。 ・ その辺の書き振りを〈現状と課題〉らしい表現に改めた方が、〈取組内容〉が活きるような気がする。 ・ どこまで細かく書くか。例えば、農業では、私たちは即売会を何回も地域ご

部会長	とにやって、西宮産の野菜の PR をしているが、そういう詳しいことは載せなくていいのか。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・そこが総合計画の悩ましいところ。どこまで具体的に事例について載せていくのか。もう少し踏み込んだ記述をした方がいいか。メリハリをつけて。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、西宮の地域ブランドとして軟弱野菜を発信していくといった書き方ができれば、もう少し詳しくはなるかと。具体的な施策については、後の農業の部分で書かれるので、連携も取れるかと思う。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・この「都市ブランド」の意図を分かりやすく書いたらいい。シティプロモーションが後にあるが、これは直感的にはそういうことを言っていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・結果的には、シティプロモーションにつながっていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・文末を見ると、「必要がある」「推進している」「取り組んでいる」というように書かれているが、どういうことが課題なのかが出ていない気がする。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、西宮は、上から阪急、JR、阪神と、横のつながりは非常にいいが、縦のつながりが大きな課題だと思う。阪神で来ても、南へ下がって酒蔵等にアプローチするバス路線等が今一つ上手くないため、酒蔵の行事への参加がもう一つだったり、あるいは知られていないといった状況もあるのではないか。その辺りを解明していくことも今後の課題になるのではないか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・〈現状と課題〉について、それに対応する〈取組内容〉を記載するという流れの方がより分かりやすいのではというご指摘だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスが難しいとは思いますが、アクションプラン、直訳すると事業化プランみたいなところなので、その辺りに少し踏み込んだ方がいいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この辺は次の第3次の産業振興計画でも当然取り上げてやっていく。総合計画は1ページごとに分野も違うので、書ける部分も限られてくるだろう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「西宮市清酒の普及の促進に関する条例」を契機に、各酒蔵の蔵開きとかが開催され、参加者も増えてきているが、「日本酒で乾杯」というのはまだまち全体に広がってはいないというのが5年経った状況で、なかなか息の長い話だ。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しく書けばそういうことだが、ここで書けるのはある程度限られる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・しかし、おっしゃったような課題を少し書いてあると、この〈取組内容〉を市民の皆さんにより知っていただくとか、企業の皆さんには是非とも乾杯していただくとか、ということになるかもしれない。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・都市ブランドについては、抽象的な項目なので、委員の意見を踏まえて、もう少しリアリティのある記述の仕方を考えていただきたい。
事務局	<p>【21 大学連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（アクションプラン P55～P56 について説明）
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「大学のまち」は、文教都市のベースになっているところだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「包括連携協定を市内の全ての大学との間で締結した」とあるが、これは同

産業文化局	<p>じ内容のものか。それによってどういう取組が表れてきているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学では「社会連携室」という窓口ができ、市も「大学連携課」を作って窓口を一本化し、相談しやすい環境になってきている。そして、各大学と市内に照会をかけ、年間どれくらいの連携が行われているか具体的な事業名まで把握している。協定を結ぶまでは、窓口も集約するところもなかった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会議所も産学連携を進めなければということで、平成 27 年度に大手前大学と、今年度は武庫川女子大と包括連携協定を結んだ。 ・ それ以前から個別企業と大学がタイアップして商品開発等を行っている。武庫川女子大と化粧品会社のタイアップ、大手前大学のレトルトのカレーといった取組が随所で進んでいる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会議所が中に入って関係を結んだ部分もある。 ・ 西宮にとって本当に重要な資産なので、どんどん進めていただきたい。会議所が間に入っている構図だ。会議所の利活用はここには書いていないのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ どちらからと言えば官学のことを書いてあり、産官学まで書き込むかどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〈現状と課題〉に「本市には九つの大学・短期大学」とあるのと、36,000 人の数字に驚きを感じた。これはすごくいいと思った。 ・ 質問だが、「カレッジタウン西宮」が本文中にはない。「大学のまち・西宮」はあるが、「大学のまち・カレッジタウン西宮」でもいいのではないかと。格好良く、スマートになるのでは。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元々「カレッジタウン西宮構想」から始まり、大学交流センターなどをつくってきたが、今は「大学のまち・西宮」という言い方をすることが多い。文言はもう一回精査する。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「カレッジタウン西宮構想」は古いのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 4 年だから、震災前だ。昔にできた構想なので、「カレッジタウン西宮構想」をここに挙げていいのかどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関して非常に魅力ある大学が多い。関学、武庫川女子、甲子園短期大学など非常に強いチームが多数あり、充実した施設や人材も豊富だということも一文入れたらいいのではないかと。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、アマチュアスポーツが大変な事態になっているが、古い体質がなくなることで、一皮剥けてスポーツの時代になってくると期待が逆にある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表に出て良かったのではないかと、逆に思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「36,000 人の学生」のうち、西宮市から市内の大学に行く学生が何人くらいいるか。また、卒業してどの程度西宮に定着しているのか。 ・ 芸術文化の取組として野外文化事業を行っており、小学生とのイベントに取り組むよう大学に働きかけているが、あまり進んでいない。先生が熱心な大学は積極的な協力が生まれているが、先生に意欲がなく学生だけになってし

産業文化局	<p>まうと上手くはかどらない。これが大学連携の今後の課題とと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学と地域社会との連携という辺り、もっと力を入れて取り組んでいただく課題があのではないか。 ・ 数字は今手元にはないが、通学、下宿、卒業後に市内で就職、県外のどの県に就職、といった統計はある。事務局を通じて提供させていただきたい。 ・ 地域との連携は大変重要。西宮で大学を過ごした方が、一旦転出するけれども、関西へ帰って来たら西宮に住むというような行動につながるように、地域とのつながり、関わりを持ってもらうことは大事と思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重要なのは、何のために大学と連携するのかということ。最終的には、西宮のことを学生たちが知る、研究者も西宮の企業と情報共有して接点を持つ、36,000人の学生たちが「西宮に住もう」「ここで働こう」と思うような情報共有の仕方が地域とできると、西宮の発展につながっていく。西宮の豊かさや発展に結び付いていくという構図を作っていくことが大事だ。 ・ 西宮の良さを在学中にともかく知ってもらおうというような状況にすることが大事だ。西宮にとって重要なポイントだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関して、大学と地域の交流はない。大学で一生懸命スポーツをやっている子が、少年剣道をやっている我々と交わることは全くない。 ・ イベントを一緒にやるとか、講習会を大学が企画して、小学生が行くとか。市として何かあればいろんなスポーツで交流できるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい頃に大学に行ったら、その学校に凄く憧れる。だから、やはりそういうことは重要だ。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学スポーツも変わらないといけない時に来ているので、地域との接点を持つということとは重要だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ よくオリンピックを招くなどしているが、それより、もっと回数を増やして大学と地域の子どもたちが交流する方がいいのではないか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近のスポーツ論議の中で、専門家は、大学は教育の一環であって、勝ち負けは二の次、三の次だということをよく指摘している。やはり、あくまでも教育の一環であり、その中で地域の子どもたちと接点を持つというのは、大学にとっても大事なことであり、これから変わっていくのではないか。
事務局	<p>【22 産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (アクションプラン P57～P58 について説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ これより前と比べると文末に違う表現がある。「受け皿となっている」とか「懸念される」といったところがあり、このように断言できるのか不安な部分もあるように思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〈現状と課題〉で「人口減少が顕著な地域では～小売店、飲食店などの～衰退し」とあるが、実際、シャッター街みたいなのところはあるのか。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴尾地域で一番の商店街だったところが、今は、数店舗しかないシャッター

<p>部会長</p>	<p>通りになっている。また、阪神西宮の南はアーケードの大きな商店街だったが、震災で潰れてマンションが建ち、引っ越して来た方には商店街のイメージはないだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減ることにより商工機能が停滞していくというのは、イメージ的には北部の方を考えている。塩瀬、山口は商店街組織も解散している。 ・対策としていろんな取組をしているが決定打がないというのが現状だ。 ・日本全国で課題になっている点だ。人口減少も直接的な影響だが、実態として、皆が商店街でものを買わなくなり始めた。通販、ネット購入が物凄いスピードで拡大しているし、コンビニなど新しい形態のものができている。従来の商店街が厳しい状況に置かれているのは事実。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいところだが〈取組内容〉の③は「住宅都市」「大学の多いまち」という順番だが、次の行が「学生、女性、高齢者」となっている。それならば、「大学の多いまち」の後に「住宅都市」ときた方がしっくりくる。 ・もう一つ、〈目的〉のところの「企業市民」とは。
<p>産業文化局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・造語であり、企業も、地域社会の中で、市民と同じ立場で地域貢献活動への参画を進めていくべきという考え方。人口が減り、高齢化社会になっていくと地域の担い手が少なくなってくる。そこに企業も市民のという立場で地域の担い手として関わることで、地域の維持、活性化につながっていくというイメージで「企業市民」という言葉を入れている。確かに一般的な言葉にはまだなっていないかもしれない。 ・企業も人手不足が課題になっており、「ああ、こういう企業があるのか」、「ここへ働きに行こう」となるよう、地域に溶け込んでいこうとする企業が増えてきている。そういう意味でも「企業市民」という言葉を使っている。
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災の後、企業がまちづくりに積極的に取り組む事例は随分出てきた。神戸では酒蔵が倒れた後、酒造会社の経営者や従業員が自治会などと一緒に入って地域づくりについて議論するなどの事例が出てきた。 ・ただ、住民が地域について議論をするのは当然だが、やはり企業にとってのメリットも出していく。酒蔵の場合は、やはり雰囲気のできる限り残したまちにすることで、会社にとってもメリットがあるだろう。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市の活力と持続的な発展を支える産業振興」とあるが、小規模事業者への支援や、起業しようとする人に対するサポートは一定できている。 ・しかし、西宮でしっかり事業をしているところが事業を広げたいと思っても、市内で土地の確保が難しい。市内に本社機能だけ置いて、営業所、事業所を市外に持って行ってしまうこともある。市内に確保できるなら市内に持ちたいという話もある。そこに手が打てていないのが大きな課題と思う。どんだん外に出て、しまいに本社も出てしまうという話になりかねない。 ・縦割りの中ではなかなか解決できず、産業文化局だけでは対応し切れないの

部会長	<p>で、他の局とも連携しながら、市全体で取り組んでいかないといけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも産業振興計画にはきっちり書き込んでもらいたい。 ・事業拡張用地を確保するのが難しいのでどうしても外に出て行ってしまおうとなるのは、残念なこと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・確保できない理由は、例えば、住宅地だからとか何かの制約があつてのことか。それとも、場所自体がないということか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・余剰地そのものが少ない。 ・山間部開発や、埋め立てなどで土地を確保してきたが、今は止まっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・元々西宮は、重工業は持って来ないというのがベースにあるが、重工業ではない企業でも立地するのが難しくなっている。伝統産業の酒造業や食品関連が残っているが、すでに市外に出たところもいくつかある。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本社は西宮だが、ポートアイランドに研究所などの拠点が行ってしまった企業もある。周囲に駐車場やマンションが建つ場所はたくさんあるのに、そこにつくれなかった理由がなんだろうかと疑問に思った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・土地絡みだと個別の事情があろうが、一般論で言うと、西宮は住宅都市であり、大ロットの土地がない。また、土地の値段が高いので、マンションの方が、地価負担力が大きいから勝ってしまう。 ・大きな流れで見て、やはり働く場所が西宮の中に組み込まれるというのは大事。昔のように産業が公害の象徴のようなことはもうない。文教都市を活かした産業、ビジネス振興の方向で働く場所を守っていくことが必要だ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・就労人口のうち、大阪、神戸を中心に市外へ出るのが6割、市内で働く方が4割。また、市内で働く方の6割が市内在住者で4割が市外から来ている。 ・受け皿が限られおり、市内で働く市民の割合を上げることになかなかならないので、それをもう少し広げる方法が課題だと思う。 ・36,000人の学生については、卒業して市内で就職する人は少ないし、県内でも少ない。大概が県外へ出てしまう。そんな状況だ。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の新聞で、女性の70%は働くようになったとの記事が出ていた。「西宮で働く女性は格好いい」といった働く女性のイメージを作ると、それこそ「西宮ブランド」とうまく重なる。大学と連携したイノベーティブなビジネスが、起業創業と結び付くという構図もいい。いろんなことの接点にこの「産業」というのがあると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内は女性の作家が多いが、表だって売るところがない。ネットでは売っているが。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・作家の一人仕事は、産業というところに出て来にくいかもしれない。作家にビジネスというレッテルを貼ってしまうと怒られるかもしれないが。 ・産業振興計画もあるが、ここでもエッセンスを位置付けていただいているということだ。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略に7つの基本目標があり、その1番目が産業に関することだ。その考え方、精神はこの中のどういう部分に出てきているのか。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・②の「中核企業や西宮ブランドの競争力強化」が該当しており、今まで、行政はどちらかというと均等に支援をしていくということであったが、やはり稼ぐ力の高い企業に対して集中的にやりましょうということを述べている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのためには、先ほど申したように、やはり市内で産業立地がきちんとできるバックアップ体制がないといけない。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地や誘致をすると、昔は、「西宮は土地が高いから、工場はこない」との話だったが、今は、「それだけのお金を投資しても人材が確保できるので、西宮での立地は大いにある」と企業も言うので、立地する土地を確保することが大事になってくる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の中小企業と行政の情報共有は大事。事業用地を拡張したいということも、常に行政、会議所と情報共有されていたら、「実はここに」みたいなことになっていく。担当が経営者と常に顔を合わせていることは大事だ。 ・西日本豪雨で自治体に行った折、まだ避難所の運営が大変な時期で、産業担当は国からいろんな情報収集の指示があり、日頃あまり情報共有しておらず、電話でやり取りしている状態だった。それこそラインやメーリングリストがあったら一気に国の情報なども流せる。 ・南海トラフ地震もあるので、やはり行政と会議所と企業の三角の構図で情報を常に共有するのは大事だと思う。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・顔の見える関係づくりと言っており、大事なことだと思う。 <p>【23 農業・食の流通】</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・（アクションプラン P59～P60、参考資料 2 P11 について説明）
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・農業では、自分のところで採って、自分の小屋で売る直売所が非常に多くなっている。市場に出して手数料を取られるより、時間は拘束されるが、自分で値段を付けて新鮮なものを直売する。中津浜線に近い荒木町では、あたりの農家一軒一軒がやっているような状態で、トマトとかハウス施設が多い。 ・新規就農した人は援助をもらえるので、施設を大幅に増やしている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・集約すると、何か面白いビジネスになるのでは。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・JAでも4～5年で力を入れはじめており、各地区で直売所を開設している。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・商業で言う製販一体。商店街でも、そこで作ってそのまま売っておられるところは結構生き残っていると聞く。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ、市場なら少し安いのが大量に持って行けるが、直売所は客が限られるので、出す数は少なく、余れば持って帰らないといけない。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでも、そちらに変わりつつあるということか。今後とも強まるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今やっていない人も、どんどんやっていくだろう。最近、市場と直売所で値段の差が非常に大きくなってきている。

部会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう場所があるといい。 ・もっとバラバラにあれば、自分のところの客ができて、もっと売れるだろう。一角で固まっており、非常にもったいない。
部会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のアクションプランについてはどうか。 ・鳥獣被害は、やはり北の方は酷い。稲刈りの時期にイノシシが入って身体を擦り歩く。収穫しても米に臭いニオイが付いて商品にならないといった被害が非常にたくさんある。 ・また都市の近郊なのでカラスも多い。まち中ではごみ袋を対策しているから、カラスが農作物にやってくる。
委員 産業文化局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 西宮駅の横にある市場は東地方卸売市場か。 ・公設の市場と民設の東卸売市場と両方ある。 ・賑わっているようで、賑わっていないみたいで、店を開いていないようなところもある。あの辺はどうなっているのか気になっていた。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売市場であり、活動時間が早朝なので、市民の目につきにくい。 ・施設の方もかなり老朽化しており、この辺り一帯を再開発という手法で再整備することを考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉センターについて、〈現状と課題〉で、「流通形態の変化に対応した運営体制の見直しについて検討する必要がある」とあるが、何を指しているのか。 ・また、〈取組内容〉の「食肉センターの管理運営」で「今後も設備等の計画的な更新を進める」と、現状維持のようにになっているが、ギャップはないか。
産業文化局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の指定管理者制度の中で効率的な運営体制の見直しを行いながら、流通形態の変化に対応したような更新を行っていくということを考えている。 ・踏み込んで言えば、議会は民営化をやれと。「市内の食品関係産業の振興に寄与している」という部分はあるが、食肉センターの肉は市内だけでなく結構なエリアまで行っており、「市がなぜあの施設を持たなければならないか」「民営化でもいいのではないか」という議論までいっている。 ・それに対して、明解に答えずに、この 10 年間は現状の体制でいき、設備の更新をやっていくという答えになっているが、それでいいのか。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にどれだけ流通しているかはっきりしないが、食肉センターがあることによって、食肉加工業者が市内に集積をしており、サプライチェーンを構築しているというところでは、食肉センターの役割はあると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・しかし、一部は別のところでやるという話もあった。今後も続けられないかどうかは、どこかの時点で考えないといけないと思う。 ・もう一点、卸売市場について、収支見通しの中で、6 億 3, 100 万円が前期で挙がっているが、後期に 0 円とあり、この事業は平成 35 年まででやり遂げるという理解でいいか。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところはその予定で進んでいる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6億3,100万円は、いわゆる卸売市場の部分だけの経費がここに計上されているということか。とすると、隣の部分で、組合施行の再開発事業に対する市の負担はここには出ていないのか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【4 市街地】の「JR西宮駅南西地区の市街地再開発」に入っている。 ・ あのエリアの再整備について、市が実施する卸売市場で6億3,100万円、民間主体の市街地再開発事業にも一定の金を投入して、トータルで6億3,100万円以上の財源を投入するという理解か。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。 ・ 農家の直売所は確かに集約してもらおうといい。自転車でハシゴして買い物している。また、いつ開いているか分からない農家もあるので、「本日やっています」みたいなメールをどこかが送ってくれるといい。
部会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者と上手く結び付くような何かがあるといい。 ・ あれば助かる。廃棄、見切り品が減るのではないか。 ・ 卸売市場は、一度「まちたび博」で早朝の見学をした。新しくなったら、もう少し遅い時間の見学会もあればいい。開かれた場になれば、皆さんの意識が変わるのではと思う。
産業文化局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験機会について、昨秋、船坂小学校でソバの種蒔きからソバ打ちまでを体験した。船坂への思いも親しみも湧いた。実際の運用はJAなどプロに任せて、市では告知・広報を担当したら、もっと参加しやすくなるのでは。 ・ 直売所については、市の方でもポータルサイトで「あぐりっこ西宮」というのを立ち上げ、直売所の紹介などもしている。すべて網羅できていないかも知れないが、そういう形でさらに広報、PRしていきたい。 ・ 卸売市場については、民間の事業主体が運営するが、市としても支援を行うことから、できるだけ市民に開かれた市場になるように考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改築するのなら、その前にしっかり写真とか記録を残しておいていただきたい。あそこは文化なので。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験だが、中学生の「トライやる・ウィーク」というのが春にあり、1週間受け入れた。中学生が4人ほどきて、農業を手伝ってもらって、一緒に弁当を食べてということをやっている。 ・ 一般の方でもできる機会があれば。ちょっと体験してみたいという人がいるかもしれないので、そういう機会を作れば、私たちも受け入れたい。
委員 部会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で体験できるのであれば、需要は多いと思う。 ・ 西宮の農業の役割かもしれない。 ・ 私がやったのは、春にサツマイモの植え付けをし、秋になったら一緒に収穫して、ちょっとだけ持って帰ってもらうということをやっていた。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういう農業の役割みたいなものをどこかに。事務局で考えてもらいたい。

事務局 委員	<p>【24 就業・労働】 (アクションプランP61～P62について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、政府が「働き方改革」ということで、例えば、残業時間に制限を付けようとしているが、ある運行会社で、従業員が国土交通省に電話して「なんで超勤を減らすのか」というアピールをダイレクトにしたとのこと。良いように見る向きもあるが、働く者にとっては切実な問題があると改めて思った。なかなか難しい話だと思う。
部会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に難しいところ。 ・就労継続支援 A 型は大丈夫なのか。一時期に作ったが、やっていけないからある日突然閉鎖し、大勢の障害者があぶれたとニュースで言っていた。 ・私も、見学に行った時、2年間補助が出るので2年経ったら他所のところの方とトレードし、また2年間がスタートするということが行われている、と聞いた。“絵に描いた餅”で終わらないかと心配している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同じく、障害者の雇用促進など、具体的に考え、もっと書いてほしい。 ・ユニバーサル・スポーツと言って、障害者と健常者が一緒にやるスポーツを考案し、進めている。実際、働き口がなければ、そういう楽しみもできないので、雇用促進について具体的にどういうことをしているのか知りたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・就職について、美術関係の大学を出たような人は、生計の憂いをなくそうと思えば、デザイン関係の仕事に就くということになり、そこにはまると、絵を描かないという状況になる。自分で自分の幅を狭めてしまう。また、デザイン関係ではないところへ就職すると、なかなか自分の思っていることと合わないという状況になる。 ・就職について、どのような施設でどういうアドバイスがもらえるということがあまり周知されていないので、その辺のことも将来的には考えてほしい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を持っている方の仕事については、今、労働市場の議論をすると必ず出てくる。背景として、働く人がいなくなり、障害を持っている方も一緒に働こうという潮流もあるが、それとは別に、当然のことだが、障害を持っている人も健常者と同様にきちんと働く場があるべきだということ。 ・岡山県総社市では、障害を持つ人が千人くらい、その中で働いている方は百人ちょっとだったので、社協などと連携し、千人雇用を達成したとのこと。現在では予備軍の方があることが分かってきて、二千人計画を作ってやり始めている。企業を回り、「この方はこういう働き方ができます」ということを理解してもらい、就職をお願いするというのを地道にやった。 ・働くということは、社会の中で存在していることを確認する上でも一番重要な局面であり、西宮は障害を持っている皆さんにもそういう場があるということを出せる市になってほしい。 ・P61 の下から二つ目のところで施設のことは書いてあるが、働くということ

事務局 委員	<p>自体については何の言及もない。何か考えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補足だが、【11 障害者福祉】中に障害者の方の就労支援などを入れている。 ・ 【11 障害者福祉】に書いているのは、福祉的就労の観点からのアプローチだ。本当に障害者の方が求めているのは福祉的就労ではなく、一般就労。そこへどう踏み出すかが大きな課題だ。 ・ 産業分野から見たら、最大の課題は人手不足。解決策は、女性、高齢者、外国人。この分野で外国人をどう考えるのかということが何もなし。ここで表すのか、産業のところで書いていくのか、少し考えていただきたい。
産業文化局 部会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業振興審議会でも、人手不足解消のため外国人を雇用して解決しているという意見もあった。どこに書くかは別にして、外国人の問題はこの10年のスパンでの大事な一つの施策になるので、所管課で調査をしている事案だ。 ・ 国の姿勢も大きく変わってきている。 ・ 外国人を受け入れるには、まず日本語を覚えてもらうことが大事。そのための教育機関を作って、東南アジア系を受け入れるといった話が進んでいる。例えば、介護の分野、自動車の運転などの分野でも、結構入っているらしい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的には一番大きなポイントになっていく可能性がある。
事務局 委員	<p>【32 消費者安全】 (アクションプランP79～P80のうち消費安全の項について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今、こういう消費者トラブルが非常に多くなってきているので、その辺をどう考えていくかが、今後の大きな課題だろうと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット、スマートフォンに関しては、自分で気を付けるしかない。テレビ、会話など、いろんな情報を集めておいて危機対応するしかない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ システムの開発をやっている立場から言うと、完全に防ぐことは難しい。成りすましを見分ける術が技術的に追いつかない。敵の方が早い。 ・ ただ防げるとするのは、高齢者に対する詐欺。つい何ヶ月前、近所であちこちの家に同じ手口で電話がかかってきた。被害者などの話を集めると、高校の名簿から出たということが近所の井戸端会議で分かった。そういうことを広報することができれば、もっと防げるのではないか。
産業文化局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、市で録音機能とか対応はできないか。 ・ 通話録音装置の無料貸し出しをしている。 ・ ただ、昼間一人になる世帯が対象のようだ。一定以上の高齢者で、希望者という形になればもっといい。私も借りようと思ったが条件に合わなかった。もう少し拡大していただけたら助かる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深刻なのは犯罪事案で、行政がどこまでタッチできるかは難しい。やはり警察が動かないといけない。行政の役割は、ここに書いてある周知といったところしかないと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先日、大学に県警の女性警察官に来ていただき、若い女性がどのようにトラ

<p>委員</p> <p>部会長</p>	<p>ブルに巻き込まれていくのかについて教えてもらった。女子学生にとっては戦慄だった。高齢者の保険金トラブルなんかもいまだにあるが、若い女性も気を付けていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホなどで「今払わないと課徴金を取られます」といったメールが入る。50代～60代が一番引っ掛かりやすい。 ・この辺り、行政としてどれくらい関与するのかというのはなかなか難しいところだが、警察と連携するとか、あるいは、学校、教育委員会を通じて、小中学生をトラブルから守っていただきたい。 ・今日の皆さんの迫力あるお話を事務局で起稿し、文章の調整をする。 <p>3 その他 (次回審議会について連絡 第3部会:9月3日(月)午後2時～)</p> <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------